

天馬の記

岡部耕大

18

父の葬式も終えてしばらくして、はっとした。父のあの2文字は「オキ」と書いたのではな
いか。「隠岐を頼む」の意味だ
ったのではないか。「おやし、
わががでんことば、おいにや
れというとか」。父は島根県・

政治犯が流された島である。大
さんや早川秀敏さんである。演
塩平八郎の乱」の年には「隠岐
劇が取り持つ縁であった。岡部
騷動」も起こっている。「隠岐
の墓があるお寺のご任職が親切
騷動」は2013年に舞台劇と
に対応してくれた。松浦のお寺
して書き、隠岐でも上演するこ
とができた。やはり、父の納骨
とも頻りに連絡をしてくれてい
た。隠岐には、父やわたしによ
く似た顔の人がいた。隠岐では

父が残した2文字

父は松浦市の病院で臨終を
迎えた。亡くなる30分くらい前
に、父はわたしの掌に指で片
仮名の2文字を語った。わたし

隠岐の親戚に不義理をしてい
り合ったアマチュア劇団の人が
それを「岡部顔」というそうで
た。母は隠岐の親戚や姑とは
仲が悪かった。嫁と姑と小姑。
どこにでもある人間関係であ
る。隠岐と星鹿では風土もまっ
たく違った。

世話をしてくれた。佐々木雅秀
ある。父の戒名は隠岐のご任職

「演劇を頑張れ」と励まして
くれたのだと解釈した。「あ
あ、任しとかんや」と応えると
ほっとした表情を浮かべた。
父が愛読していた「赤旗」の
日曜版なら、わたしも読んでい
る。

隠岐の冬は横殴りに雪が吹雪
く。後鳥羽上皇や後醍醐天皇、



おかべ・こうだい 1979年に
「肥前松浦兄妹心中」で岸田戯曲賞を、
89年に「亜也子」で紀伊國屋演劇賞個
人賞を受賞。日本劇作家協会元理事。
松浦市で毎年、子供たちにミュージカ
ルを指導している。川崎市在住。70歳。

につけていた。隠岐の岡
部の墓は海が見える小高い丘の
上にある。

父は名前を大藤といった。大
正6年の生まれである。大きな
籠を大きく耕せ。それでわたし
が耕大である。わたしの長男は
大吾と名づけた。「わたしが耕
した土地に大きい吾を建てる」
の意味である。

わたしは小学校の3年生と4
年生を隠岐で過ごした。父が星
鹿を離れたのである。父と星鹿
になんの軋轢があったのかは知
らない。ただ、父が老婆に口汚
く罵られているシーンは見た。
あの人だかりの中には、わたし
もいたのである。

(松浦市出身)